

【報道関係各位】

2021年4月28日
一般財団法人 日本気象協会

2021年桜開花予想(第10回)

北の大地でサクラサク 根室への終着も平年より早い見込み

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)は、日本全国 87 地点の桜[ソメイヨシノ ほか]の開花予想(第10回)を、2021年4月28日(水)に発表します。

■2021年開花予想前線図



北海道・札幌市 標本木(4月26日撮影)
22日に開花し、27日に満開となりました。2020年より1週間ほど早く、札幌に春がやってきました。



■2021年 開花予想日・満開予想日(主な地点)

開花日

	地点	予想日	傾向	平年開花日	2020年	最も早い開花日
鹿児島県	鹿児島市	[3月17日]	かなり早い	3月26日	4月1日	3月15日(2013年)
福岡県	福岡市	[3月12日]	かなり早い	3月23日	3月21日	3月12日(2021年)
高知県	高知市	[3月15日]	かなり早い	3月22日	3月24日	3月10日(2010年)
広島県	広島市	[3月11日]	かなり早い	3月27日	3月22日	3月11日(2021年)
大阪府	大阪市	[3月19日]	かなり早い	3月28日	3月23日	3月19日(2021年)
愛知県	名古屋市	[3月17日]	かなり早い	3月26日	3月22日	3月17日(1990,1989,2021年)
東京都	千代田区	[3月14日]	かなり早い	3月26日	3月14日	3月14日(2020,2021年)
長野県	長野市	[3月29日]	かなり早い	4月13日	4月2日	3月29日(2021年)
新潟県	新潟市	[3月29日]	かなり早い	4月9日	4月1日	3月29日(2021年)
石川県	金沢市	[3月23日]	かなり早い	4月4日	3月26日	3月23日(2021年)
宮城県	仙台市	[3月28日]	かなり早い	4月11日	3月28日	3月28日(2020,2021年)
秋田県	秋田市	[4月4日]	かなり早い	4月18日	4月8日	4月4日(2021年)
青森県	青森市	[4月13日]	かなり早い	4月24日	4月17日	4月13日(2021年)
北海道	札幌市	[4月22日]	かなり早い	5月3日	4月30日	4月21日(2008年)
北海道	釧路市	5月8日	かなり早い	5月17日	5月10日	5月6日(2015年)

満開日

	地点	予想日	傾向	平年満開日	2020年	最も早い満開日
鹿児島県	鹿児島市	[3月30日]	早い	4月4日	4月19日	3月26日(2013年)
福岡県	福岡市	[3月22日]	かなり早い	4月1日	4月2日	3月22日(2013,2021年)
高知県	高知市	[3月23日]	かなり早い	3月30日	4月2日	3月19日(2018年)
広島県	広島市	[3月25日]	かなり早い	4月4日	4月3日	3月25日(2021年)
大阪府	大阪市	[3月28日]	かなり早い	4月5日	4月3日	3月26日(2018年)
愛知県	名古屋市	[3月28日]	早い	4月3日	4月1日	3月27日(1990,2018年)
東京都	千代田区	[3月22日]	かなり早い	4月3日	3月22日	3月21日(2002年)
長野県	長野市	[4月1日]	かなり早い	4月17日	4月13日	4月1日(2021年)
新潟県	新潟市	[3月31日]	かなり早い	4月14日	4月7日	3月31日(2021年)
石川県	金沢市	[3月29日]	かなり早い	4月10日	4月1日	3月29日(2021年)
宮城県	仙台市	[3月31日]	かなり早い	4月16日	4月3日	3月31日(2021年)
秋田県	秋田市	[4月7日]	かなり早い	4月22日	4月15日	4月7日(2021年)
青森県	青森市	[4月17日]	かなり早い	4月29日	4月21日	4月16日(2002年)
北海道	札幌市	[4月27日]	かなり早い	5月7日	5月2日	4月25日(2002,2008年)
北海道	釧路市	5月9日	かなり早い	5月20日	5月13日	5月8日(2015年)

※予想日の[]はすでに開花、満開になった地点です ※()内の年はおおむね過去30年の最も早い開花日、満開日です

■開花と満開の傾向

4月下旬に入り、22日に札幌、24日に帯広、27日に室蘭で開花しました。札幌では平年より11日、帯広では10日、室蘭では9日早い開花となっています。北海道の桜は、開花からわずか1日後から5日後には満開になり、27日に札幌と帯広で満開となって、北の大地を桜色に染めています。この先、5月に入ると、旭川では1日、網走で4日、釧路で8日、そして根室で9日に開花して、桜前線はゴールとなるでしょう。

■今シーズンの開花の振り返り(4月28日時点)

開花前線は平年よりかなり早く、気象台の観測地点では3月11日に広島でスタートしました。その後、福岡で12日、東京で14日に開花し、いずれも最早記録となりました(※東京はタイ記録)。北陸及び東北地方では、気象台の観測地点すべてで最早記録となっています(※仙台、盛岡はタイ記録)。桜の開花を観測している気象台全49地点のうち、およそ半分にあたる24地点で統計開始以来の最早記録を更新しました。



全 87 地点の桜の開花予想日はこちら : <https://tenki.jp/sakura/expectation/>

【言葉の説明】

平年 : 1981~2010 年の平均値

かなり早い : 平年より 7 日以上早い

早い : 平年より 3 日から 6 日早い

平年並 : 平年との差が 2 日以内

遅い : 平年より 3 日から 6 日遅い

かなり遅い : 平年より 7 日以上遅い



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1: 桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1: 以下の日程を予定しています。2月中は開花予想日のみを発表し、3月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第 1 回 1 月 28 日 (木)	第 2 回 2 月 10 日 (水)	第 3 回 2 月 25 日 (木)	第 4 回 3 月 4 日 (木)
第 5 回 3 月 11 日 (木)	第 6 回 3 月 18 日 (木)	第 7 回 3 月 25 日 (木)	第 8 回 4 月 1 日 (木)
第 9 回 4 月 15 日 (木)	第 10 回 4 月 28 日 (水)		

Q2: 開花日・満開日の基準は？

A2: 気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で 5～6 輪以上の花が咲いた(枝ではなく幹や根から咲く花は 5～6 輪に含めない)状態となった最初の日、満開日は標本木で 80%以上のつぼみが開いた状態(同時に咲いている状態である必要はない)となった最初の日です。

Q3: 予想する地点数は？

A3: 2月中は 49 地点、3月以降は全国で 87 地点の予想を発表します。予想地点 87 地点は、各地気象台が観測する標本木 53 地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる 34 地点となります。

Q4: 日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4: 花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は 2007 年から桜の開花予想を実施しており、今年で 15 年目の取り組みです。

Q5: 開花予想に使うデータは？

A5: 以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。